

いわて環境学習応援隊・取材報告① 盛岡セイコー工業株式会社

環境とともに歩む

青空に岩手山がくっきりと浮かび上がる5月の上旬、雫石町の高級腕時計メーカー、盛岡セイコー工業株式会社を訪問しました。いわて環境学習応援隊企業に今年の1月に登録し、子どもたちをはじめ多くの地域の皆さんに事業の内容や環境への取り組みを広く知ってもらいたいと意気込む会社です。昨年7月にオープンした「グランドセイコースタジオ 雫石」は、日本を代表する建築家・隈研吾氏の設計によるもので、岩手の大地にそびえる岩手山をイメージし、エントランス部分の屋根が跳ね上がる美しい建造物です。

カラマツの重厚な柱を基調に大和張りで陰影をつけた壁面は、自然との調和と共生を目指す建物として注目を集めています。時を刻む時計と同じにリズムを持つ建物、グランドセイコーのブランドフィロソフィーである「The Nature of Time」を具現化するものとして創られました。世界的にも例をみない木造によるクリーンルームを備え、卓越した技能者の皆さんが製造に励んでいます。この日は、林義明社長自らが案内役となりご説明をいただきました。



2020年7月にオープンした
最終組立工程を担う「グランドセイコースタジオ 雫石」



組立工程を説明する林義明社長

グランドセイコーの世界観、匠の物づくりとその精神を情報発信する。

1970年この地で操業を始めた盛岡セイコー工業は、現在約650名の社員を有する企業です。ここで製造する高級腕時計「グランドセイコー」は、ぜんまい式のメカニカルウォッチで、部品の製造から組み立てまでを自社内で一貫して行います。会社の方針として、「匠の物づくりとその精神を知っていただく」、「グランドセイコーの世界観を世界に向け情報発信する」を心がけています。

最終段階の組み立て工程を担う匠の技能者として、世界クラスの技術を有するゴールドマイスター2名の他、社内の様々な製造工程などに、業界内で卓越するシルバーマイスター1名、社内で高い技術を有する十数名のブロンズマイスターを有します。これらは永久資格ではなく2年に1度の更新審査があり、精度の高い製品を生み出し、技能を継承する原動力となっています。

持続可能なものづくりの追求

盛岡セイコー工業を代表する製品であるグランドセイコーのブランドフィロソフィー「The Nature of Time」にも表れている通り同社では従来から“環境と自然”を特に大切にしてきました。環境に配慮したものづくりに注力し、CO₂排出量を5年間で1,188トン削減した他、節水、紙の使用量削減、化学物質の浄化処理（排水処理、めっき廃液処理）、廃棄物の削減、再資源化（3R）などに取り組んできました。2004年にゼロエミッションを達成し現在も継続中です。また、昨年12月には、アナログクォーツ組立工場の屋根に約800kWの太陽光発電設備を取り付け、「グランドセイコースタジオ 雫石」で使う全電力量を上回る発電量を見込んでおり、気候変動対策に貢献しています。

環境負荷の軽減と達成の繰り返し、この延長にあるのが会社をあげての生物多様性保全への取り組みです。10万平米の会社敷地の緑化率は30%を誇り、緑地内には951本もの樹木があり、シジュウカラやヒヨドリなどの鳥

類の他、ニホンリス、ニホンカモシカ、ノウサギなどが訪れます。緑地の管理では、一定の高さに草地を刈るのではなく、専門家の意見を入れ、生息する生物の多様性を高めるために意図的に高さに変化を付けて刈るなど、細かな配慮を行っています。緑地の整備は社員が中心となって実施しています。2017 年からはグリーンウェーブ活動へ参画、また社員の家族も参加し、緑地ツアー、緑地アクティビティ（木の実探し、昆虫探し）や敷地内にさまざまな昆虫が棲める場所として「インセクトホテル」の製作など、自然とふれあい、生物多様性保全の大切さを知る活動を推進しています。

地域貢献活動として「御所湖の清流を守る会」が主催する清掃活動に社員が参加している他、「地域と始める環境報告会」を毎年開催しています。また、2015 年一般社団法人いきもの共生事業推進協議会による ABINC 認証を取得、2019 年には「緑の都市賞」を受賞するなど、多くの環境活動の取り組みは、より優れた製品を生み出すために、その基盤となる環境の重要性を全社員が認識した結果といえます。



生物多様性の取組を説明する標識



さまざまな昆虫の棲みかとなるインセクトホテル



敷地内の希少植物生息地

全社をあげた SDGs と脱炭素社会への取り組み

「雫石の地で操業し 50 年、社員の 9 割は雫石町、滝沢市、盛岡市に在住する。環境に配慮したサステナブルな事業を行う組織として社員が誇れる企業でありたい。そのために地域貢献も大きな指標となる。生物多様性保全活動は、生産活動と直接つながらなくても、会社として重要であり、企業の社会的責任に通じる。」林社長はそう語ります。SDGs の視点である、「誰一人取り残さない」を視野に行政、地域住民、環境保全団体などと連携し、脱炭素社会に向けた取り組みも考え、その過程で新たな価値を創造する。盛岡セイコー工業の今後に期待が集まります。

同社では、施設見学の受入れを行っています。環境学習の機会として、ぜひ訪問してみたいと思います。

工場見学および環境活動の取組説明：ウオッチ製造工程の見学、各種環境活動の取組紹介（生物多様性保全、CO₂削減、廃棄物削減など）緑地の観察および説明、所要時間 90～120 分程度、人数 15 名ほど、申込み 1 ヶ月前までに予約の連絡をお願いします。総務部（いわて環境学習応援隊担当） TEL：019-692-3511

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、見学の受入をお断りする場合がありますので、予めご了承ください。